

会告

日本設計工学会・東京都立産業技術研究センター共催
 日本設計工学会 2007 年度第2回講習会
 「中小企業向け 3 次元 CAD 導入・活用のための講習・相談会

～3D CAD の加工への活用法～

開催期日:平成20年 2月18日(月)

共催:(社)日本設計工学会, (地独)東京都立産業技術研究センター

企画:事業部会

協賛(含 予定):TAMA 産業活性化協会/(社)首都圏産業活性化協会/(社)日本機械学会/(社)精密工学会/東京湾岸地域大学間コンソーシアム
 による社会人キャリア・アップ運営協議会(TOBAC)/東京設計管理研究会/日本機械設計工業会/(社)日本コンピュータソフトウェア協会(CSAJ)/
 大田区産業振興協会(PIO)(交渉中)

今日の我が国の製造業は、「コスト削減」、「納期の短縮」が強く求められています。高い品質を維持しながら、これらを実現していくための方策として、3次元 CAD で作成された3D 形状データをモノづくりに有効に活用していくコンカレントエンジニアリングの実践が注目されています。しかしながら、その中核をなす3D 形状データの作成段階、解析や加工に利用する段階において多くの労力を費やす場合が生じています。これらの効率化には、3次元 CAD をいかに有効に活用するかが重要な鍵となります。

このような状況を踏まえて、昨年度に引き続き中小企業を対象に3次元CAD導入・活用のための講習・相談会を開催することになりました。今回は3次元モデルデータの加工への活用に焦点を合わせた3次元 CAD 活用の講習会・技術相談会を開催いたします。企業や研究所、学校関係者等で企画・設計・開発に関心がある方々の多数のご参加をお待ちしております。

尚、講習会ではテキストとして都立産業技術研究センターの御支援により、日本設計工学会編「3次元 CAD の実践活用法」(コナ社¥3,600)を1冊進呈いたします。

日 時:平成20年2月18日(月), 13時00分～17時40分 (懇親会:17:50～19:00)

会 場:東京都立産業技術研究センター

(〒115-8586 東京都北区西が丘 3-13-10 TEL:03-3909-2376, FAX:03-3909-2591)

*JR 赤羽駅西口から「王子駅行き」バスで西が丘1丁目下車 徒歩 3分, または JR 赤羽駅西口から「赤羽車庫行き」バスで国立西が丘競技場下車 徒歩1分, または JR 十条駅から「赤羽駅西口行き」バスで西が丘競技場前下車 徒歩1分, または都営三田線板橋本町駅若しくは本蓮沼駅下車 徒歩 12分

<http://www.iri-tokyo.jp/map/index.html>

司 会:大高敏男(国士舘大学)

時間	題目	内 容	講 師
13:00 ～13:10	開会挨拶	東京都立産業技術研究所センター 理事長 井上 滉	
13:10 ～14:00	【基調講演】 3次元 CAD とモノづくり	現在、3次元 CAD モデルデータを中核としたコンカレントエンジニアリングが大企業で促進されているが、これらは情報システムである観点から今後中小企業等周辺企業まで巻き込んだコラボレーションに進展することは明らかである。ここでは 3 次元CADの生産部門やデザイン部門への有効な活用事例、情報システムとしての導入・運用の留意点、さらには今後のシステム化への展開予測に関して概要を述べ、本講習・相談会への導入部分としたい。	日本設計工学会 事業部会長 朝比奈奎一
14:00 ～14:40	RPによる造形の実際	3次元 CAD によるデジタルものづくりを推進する強力な装置としてRPがますます活用されている。強度を有するモデル製作が可能なナイロン粉末RPを例として、製品開発におけるモデルの活用や造形時の留意点について解説する。	東京都立産業技術研究センター 横山 幸雄
14:40 ～14:50	休憩		
14:50 ～15:30	製造フィーチャによる工程 設計知識マネジメント	形状特徴と製造情報からなる製造フィーチャをデータベースに多様に用意しておけば、工程設計で用いる製造情報を自由に取り出すことができるようになる。本講演では、各種機械加工作業に用いられる多様な製造フィーチャを調査収集してライブラリにまとめた製造フィーチャライブラリに関して、工程設計知識マネジメントシステムとしての活用方法について述べる。	東京都立産業技術高等専門学校 ムリアディ ヘンドリー
15:30 ～16:10	3次元 CAD による設計・ 製造知識の可視化および 技術・技能伝承への活用	日本の製造業においては、生産拠点の海外移転による産業の空洞化や熟練技能者の大量退職による2007年問題など、日本のものづくりを支えてきた基盤的技術産業において設計知識の継承や匠の技の伝承が懸念されている。そこで本講演では、3次元 CAD/CG 技術・バーチャルリアリティ技術による形式知・暗黙知の視覚情報呈示およびロボット技術・ハプティック技術による力覚情報呈示を融合した没入型仮想共有環境システムについて紹介するとともに、3次元 CAD システムを用いた設計・製造知識の可視化や製品デザインレビュー、および技術・技能伝承への活用について述べる。	埼玉大学大学院 理工学研究科 機械科学系専攻 綿貫啓一
16:10 ～16:50	加工技術データベースと MZ プラットフォーム	中小製造業のものづくり力強化を目指し、インターネットを通じて加工情報を提供する加工技術データベースを研究開発している。また、設計・製造支援システムを構築するための基盤となるソフトウェアについても開発配布している。これらについて具体的な説明を行い、利用方法について述べる。	(独)産業技術総合研究所 デジタルものづくり研究センター 大谷成子
16:50 ～17:00	休憩		
17:00 ～17:40	技術相談会 上記テーマごとに別れて、個別に相談会を行います。	東京都立産業技術研究センター見学会 機器利用可能な RP, CAD/CAE システムを見学します。	

会告

17:50
～19:00

懇親会

定員:40名(先着順で定員になり次第締切ります)

参加費:無料 懇親会参加費:¥1,000(学生は無料)当日会場にて徴収いたします。

申込締切:平成20年2月12日(火)

申込方法:氏名, 所属, 連絡先, 講習会名, 相談会, 見学会, 懇親会出席有無を記入の上, FAX または E-Mail にて設計工学会事務局宛にお申し込みください。

問い合わせ先:〒154-8515 世田谷区世田谷 4-28-1 国士舘大学理工学部 大高敏男

電話 03-5481-3334/FAX03-5481-3253 E-Mail:otaka@kokushikan.ac.jp

詳細は学会または産技研センターのホームページをご覧ください。

<http://www.jsde.or.jp/>

<http://www.iri-tokyo.jp/index.html>

申込先:日本設計工学会

〒169-0073 東京都新宿区百人町 2-22-17 セラミックスビル内, 電話 03-5348-6301, Fax03-5348-6280,

E-Mail: jimukyoku@jsde.or.jp, URL:<http://www.jsde.or.jp/>